# 古井の川通信

思いやる子　考える子　がんばる子

学校便り　7月

出部小学校
7月１６日発行

## ～１学期を振り返って～

「さあ、令和8年度のスタートだ！」と思っていましたが、早いもので、１学期も終わりを迎えました。

４月、新しい学年や学級で少し緊張した表情を見せていた子どもたちも、今では友達や先生との関わりの中で、自信をもって学校生活を送る姿が多く見られるようになりました。学習や運動、学校行事など、一つ一つの経験を積み重ねながら、それぞれが大きく成長した１学期だったと感じています。

また、出部小学校では「気持ちのよいあいさつ」を大切にし、子どもたちは毎日の登下校や学校生活の中で、元気よく進んであいさつをしようと取り組んできました。「おはようございます」「こんにちは」という明るい声が校内に響くと、学校全体が温かい雰囲気に包まれます。相手を思いやる気持ちや、人とのつながりを大切にする心は、こうした日々のあいさつから育まれていきます。これからも、自分から進んで気持ちのよいあいさつができる子どもたちであってほしいと願っています。

保護者の皆様には、１学期を通して本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

いよいよ夏休みが始まります。夏休みは、普段できないことに挑戦したり、家族や地域の方々と過ごしたりする貴重な時間です。本を読んだり、自然に親しんだり、お手伝いをしたりと、様々な経験を通して心も体も大きく成長してほしいと願っています。その一方で、安全で健康な生活を送ることが何より大切です。交通事故や水の事故、熱中症などには十分気をつけ、規則正しい生活を心がけながら、充実した毎日を過ごしてください。

２学期の始業式には、たくさんの思い出とともに、一回り成長した子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしています。

### 《素敵なあいさつを目指すための合言葉》

**あ**：明るく（笑顔を添えて、お互いの心をパッと明るくする挨拶）
**い**：いつでも（学校でも、家庭でも、地域でも、気づいた時にいつでも）
**さ**：先に　（相手から言われるのを待つのではなく、自分から進んで先に）
**つ**：続ける　（今日だけでなく、明日も明後日も、毎日続けていく）

## なかよし遊び

６月末の昼休み、児童運営委員会が企画した異学年交流「なかよし遊び」が開催されました。

今回は「１年と６年」「２年と５年」「３年と４年」がペアとなり、３日間にわたって行われました。最初に全員が数枚の新聞紙に乗り、スタートの合図でチームのみんなが少しずつ前に詰めて、後方で誰もいなくなった新聞ができると、その新聞を前に送って新しい道を作りながら前進してゴールを目指すというゲームに挑戦しました。みんな笑顔で、とっても明るい元気な歓声が体育館に響く、楽しい時間を過ごすことができました。その中でも印象的だったのは、上学年の子どもたちの頼もしい姿です。自分のペースで進むのではなく、下学年の動きに合わせて「大丈夫だよ」「こっちだよ」と優しく声をかけていました。下学年の子どもたちも、お兄さん・お姉さんを信頼し、一生懸命に付いていく姿が見られました。ゴールした瞬間の弾けるような笑顔や歓声は、学年を超えた絆が確かに結ばれた証だと思います。自分より小さな存在を思いやること、そして年上の姿を見て憧れをもつこと。こうした日常の関わりの中で豊かな心が育つ大切な学びがあると思います。



素晴らしい時間を企画してくれた運営委員会の児童みんなに感謝するとともに、これからも全校児童が手を取り合える温かい学校づくりに努めていきたいと思います。

## 着衣泳

夏本番を迎え、水に触れる機会が増えるこの季節、「着衣水泳」の授業を行いました。この授業は、万が一、服を着たまま水に落ちてしまったときに、慌てずに命を守る方法を身に付けるための大切な学習です。 子どもたちは、水着の上に普段着を着てプールに入り、水を含んだ衣服の重さや、思うように体が動かせない不自由さを肌で体感しました。授業では、無理に泳ごうとせず「浮いて待つ」ことの重要性を学び、ペットボトルや衣服の中に空気を入れて浮き身をとる練習に真剣に取り組みました。 水の事故はあってはならないことですが、「もしも」の時に冷静に対処できる知識と経験が、子どもの命を守る大きな盾となります。



ご家庭でも、川や海に出かける際は安全に十分留意され、楽しい夏休みをお過ごしください。